

議案第 53 号

史跡東京湾要塞跡 猿島砲台跡 千代ヶ崎砲台跡 整備基本計画の策定について

1 策定目的

平成 27 年 3 月に国の史跡に指定された東京湾要塞跡（猿島砲台跡・千代ヶ崎砲台跡）を将来にわたって適切に保存、活用していくために、国（文化庁）及び神奈川県（教育委員会）の助言を受けて史跡の整備方針及び整備計画となる史跡東京湾要塞跡 猿島砲台跡 千代ヶ崎砲台跡 整備基本計画（以下「基本計画」）を策定します。

基本計画の策定は、今後、史跡の整備を国の補助金を受けて行うための必須条件となっています。

2 検討経過

- (1) 平成 28 年度 史跡の保存と活用の大綱となる東京湾要塞跡保存活用計画策定
- (2) 平成 29 年 8 月 東京湾要塞跡整備委員会（以下「委員会」）に基本計画の策定について諮問
- (3) 委員会の開催 史跡の諸状況の調査分析結果などに基づき、整備の方向性、内容、実施方法などについて検討（委員会 7 回開催）
- (4) 平成 30 年 9 月 委員会の後藤治委員長より基本計画の策定について答申  
基本計画（案）について文化庁と協議調整

《委員会委員》

No.	氏 名	区分	役 職 等
1	荒 木 良 子	民	市民委員
2	大内田 史 郎	識	工学院大学准教授
3	北 河 大次郎	識	東京文化財研究所・近代文化遺産研究室長
4	桑 原 巧	市	横須賀市土木部道路建設課係長
5	後 藤 治	識	工学院大学理事長 教授
6	鈴 木 淳	識	東京大学大学院教授
7	高 橋 豊	民	市民委員
8	中 村 宏 之	市	横須賀市環境政策部公園建設課係長
9	松 井 敏 也	識	筑波大学教授
10	若麻績 順 哉	市	横須賀市環境政策部公園管理課係長

「識」学識経験者、「民」公募市民、「市」横須賀市職員 敬称略



第1章 整備基本計画策定の目的と経緯

- 第1節 整備基本計画の目的
- 第2節 整備基本計画策定に至る経緯
  - 1. 委員会の設置と計画の策定
  - 2. 保存活用計画の策定
- 第3節 整備基本計画策定事業の経過
  - 1. 委員会の設置と計画の策定
- 第4節 関連計画との関係

第2章 史跡の概要および現状と課題

- 第1節 史跡の概要と現状
  - 1. 計画地の自然的・歴史的・社会的環境
  - 2. 史跡指定の現状
  - 3. 史跡の本質的価値と主要遺構の分布状況
- 第2節 整備公開活用に向けての課題の整理
- 第3節 史跡整備関連調査の実施

第3章 整備の基本理念と基本方針

- 第1節 基本理念
- 第2節 基本方針

第4章 全体計画と個別計画

- 第1節 全体計画
- 第2節 個別計画
  - 1. 遺構保存整備計画
  - 2. 環境整備計画
  - 3. 動線計画
  - 4. 案内と施設計画
  - 5. 環境保全計画
  - 6. 整備事業に係る調査計画

第5章 管理運営計画と活用計画

- 第1節 管理運営計画
- 第2節 活用計画

第6章 事業計画

- 第1節 短期整備
- 第2節 長期整備

第7章 完成予想図



### 第3章 整備の基本理念と基本方針

#### 第1節 基本理念

明治政府が新首都防衛の要とした東京湾要塞は、西洋の築城技術を導入し、煉瓦やコンクリートなどの建築資材を使用して建設した日本で最初の要塞である。

要塞を構成する砲台群は、東京湾を望む地に建設当初の姿を良好にとどめ、国防の歴史だけでなく、砲台築城のため諸外国から導入した最先端の土木・建築等技術の習熟と進歩、その背景にある産業の発展や社会生活の基盤の変遷など近代史の一側面も具体的に知ることができる貴重な歴史遺産である。

また、軍事に関する遺跡として、現在を生きる我々が過去の戦争と平和について考え、戦争の時代の記憶を未来に語り継ぎ、平和教育に資する遺跡でもある。

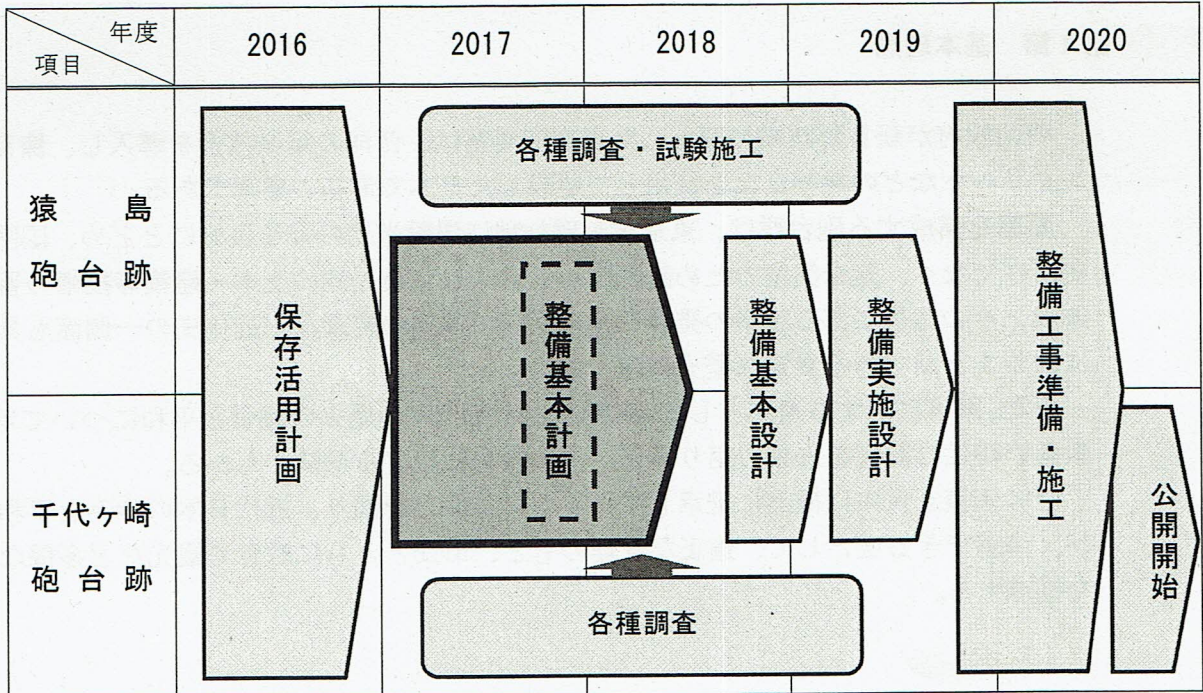
その価値を将来に確実に継承していくために保存を図り、近代日本の歩みと平和を学び、体感できる場として、適正な管理のもと、市民とともに教育や観光など多様な活用を推進する。

#### 第2節 基本方針

- 1 史跡の本質的価値をまもり、次世代へと確実に継承するため、調査に基づき遺構保存のための適切な修理・復旧を計画的に行う。
- 2 史跡の内容や特色について調査研究を推進し、その成果を移行整備や情報発信に反映させ、要塞・砲台のシステムとあわせて史跡の魅力を顕在化させる。
- 3 史跡を軍都として発展した戦前の横須賀の歴史遺産として位置付け、教育の場として、また、観光や地域活性化に寄与するなど多様な活用を行う。
- 4 史跡の保存と活用のための体制の整備と関連機関との連携を構築する。
- 5 史跡についての情報発信を市民及び国内外に積極的に行い、また、東京湾要塞跡を構成する砲台跡や他の近代歴史遺産との相互連携（ネットワーク）を推進する。



(1) 短期整備 (2016~2020年度)



短期整備における整備目標

- ・猿島砲台跡 遺構の保全と見学者の保安設備などの整備
- ・千代ヶ崎砲台跡 便益施設と見学者の保安設備などの整備

2020年度中に土、日、祝日のみを想定した一般公開の開始

(2) 長期整備 (2016~2026年)

